

楽しい歌声で交流しました 歌声喫茶

みんな元気で若返った気分

梅雨明けかと思われるほどの晴天になった6月24日(日)かばらデイサービスセンターを会場に「歌声喫茶」が開かれました。

歌声が始まると、リクエストカードが次々に集まります。それを歌唱指導に当たる伊藤俊夫さんが頭をひねり、「次はこの曲を歌いましょう」と会場のみなさんに呼びかけ、歌声喫茶が



進行して行きます。伴奏は歌声サークル「こもれび」でいつもお世話になっている石川衛さんです。どんな曲でもひきこなしで頂けるので、歌う方は安心して歌を楽しめます。それにアコーデオンの響きが歌声喫茶になくてはならない雰囲気をかもし出して気分が高揚します。また、若い頃に歌った歌を歳を重ねてから歌うと、なぜか心が若返る様な気がするから不思議なものです。

この日の参加者は57人でしたが色々な感想が届けました。「一人で歌うカラオケは抵抗あるけど、歌声喫茶の方がみんな一緒に楽しい。」「若い頃、デモに行つて歌った記憶がよみがえった」「シルバード世代が多い中、歌い続けても疲れ知らず。楽しいことをやっている時は違ふね」「月、2回高先生の往診を受けているけど、今日も車で送り迎えしてもらって参加できました。

全国から集まって 公害被害者総行動

6月6日に全国公害被害者総行動の集会在都心の日本消防会館を会場に開かれました。



この集会に参加して驚くこと-は子供の頃に聞いたり、新聞で読んだ記憶がある様々な公害被害者が目の前の壇上に立っていること。 「もう、過去の話し、昔話しのたぐい」と切り捨

てたいのは加害者側の人達のような気がします。現実に公害の被害を受け、いまだに苦しんでいる人達が目の前にいるからです。 アスベスト被害では肺ガンになつた建設労働者の話しが忘れられません。今でも深刻な社会問題としてあるのです。 また、カドミウムなどの重金属の垂れ流しが原因のイタイ病の記憶もあります。 これは骨がもろくなり少しい力で折れてしまう恐ろしい病気です。それを現在まで引きずっていることが、この集会に参加することで良く分かります。それに沖縄などに象徴される基地公害などの問題も地元住民にとって深刻な問題です。福島の原発事故に関

する報告では、私たちの地域にも何度か足を運んでくれた伊東達也さんが登壇して「原発事故の加害者が私たちの置かれている現場を見ようとはしない」と告発していたのが印象に残りました。それは公害の加害者と被害者に共通した現象ではないかと思つたからです。 大気汚染による小児喘息の話で「息が止まる不安」におびえた人たちの話では、他人事で済ませられない公害の恐ろしい一面を見た様な気がしました。 私たちは公害問題が直ぐ健康問題に直結するだけに、これからも関心を向けて行きたいと思つました。 担当 集會参加支部役員

美濃さんには感謝しています」

また、会場で久しぶりに顔を合わせた人もいて、元気を振り

お互い確認し合っている光景も見られました。この日のお茶の

担当は支部役員で、休憩の合間に栗入りドラ焼き付きで、会場

のみなさんに振る舞い好評でした。そして「秋ころにまたやりたいね」と言い残しながら2時間半の歌声喫茶を終わりました。

報告 嶺岸 宏

原水爆禁止世界大会 広島へ行って来ます

今年の原水禁代表が決まりました。(花洲想君(20歳))

千住の事務所までバイト中です。将来は平和な海で漁業に従事したいと言う夢を持っています。友の会かばら支部を代表して

原水禁広島大会に参加してきます。 この間、みなさんから寄せら



西日本豪雨 被災者募金

西日本を襲つた記録的な豪雨で広い地域で土砂災害が起き多くの犠牲者をだしました。募金の受付を行っています。 蒲原診療所受付に募金箱を置いてあります 役員会一同



# かばら歩こう会 深大寺を散策 14名参加 そばと植物園を楽しむ

6月5日は晴天にめぐまれ、武蔵野の新緑を巡る深大寺と神代植物園へ友の会員十四名で出かけてきました。

京王線調布駅から、バスに乗り深大寺前で下車。新緑に囲まれた立派な山門が私たちを出迎えてくれました。その奥には創建が奈良時代と言う本堂が鎮座し、縁結びの寺としても有名だと言ったことを聞きました。その本堂の回りは湧水が流れ、緑の木々が幽玄な雰囲気をかもし出していました。私たちはそこで名物のおそばを頂いた後、周り



一年中何かの花が見られる植物園は、どの季節に来ても飽きることなく自然に触れ合える場所として貴重です。帰りのお土産にやまあじさいの鉢を買い、2メートル近い青大将に出会ってみんなで驚いたことなど良い思い出になりました。

私たちは普段、日帰りできる程の身近な場所への遠出でも、一人ではなかなか腰が上がりたくないけれど、何人か集まれば行きたくなるとの感想が自然に出た歩こうになりました。事務局 田中 英人

## 蒲原歯科診療所 新歯科衛生士紹介



蒲原歯科診療所の歯科衛生士の細井美沙です。出身は日本大学松戸歯学部附属歯

科衛生専門学校です。専門学校にて3年間学び国家試験を合格し、蒲原歯科診療所に入職しました。蒲原歯科診療所では基本から応用まで丁寧な教育をしてくださり、今年で歯科衛生士歴5年目になります。外来では、診療補助(先生の治療の介補)、保健指導(患者さんへの歯磨き指導や生活習慣についての指導など)、予防処置(患者さんの歯石除去やフッ素塗布など)といった業務を主にを行っています。在宅往診では通院が出来ない患者さんひとりひとりに、よりそいふれあい診療を行っています。診療以外では、

## 東京土建住宅データー 神明分会に初参加

去る6月3日、東京土建神明分会が、神明住区センター裏の公園で、住宅データーを取り組みました。今回、組合から初めて青空健康チェックを要請され、かばら友の会支部として参加しま

母校での講義や東京民医連集談会での発表。また、友の会班会の講話、蒲原診療所での健康講座等を経験し、現在は東京民医連歯科衛生士部会長に就任しています。日々の診療において大切にしていることは「患者さんの表情や雰囲気等を常にみる」と「先生と患者さんの架け橋になること」です。患者さんの様子をみて、気になることはありませんかと声をかけたり、先生に聞きにくいことや伝えたいことを代弁したりします。先生と患者さんとの関係を強くすることが質の高い診療を行っていく為欠かせないことだと私は考えています。ひとりでも多くの患者さんの歯科に対する恐怖感や疑問を減らしながら歯磨きや検診の重要性を伝えたいと思います。最後に、患者さん自身がお口が健やかであることの喜びを感じて頂けるようにしていきたいです。

## ヒバクシャが訴える 核兵器廃絶国際署名

昨年の7月に国連で「核兵器禁止条約」が採択されました。杉並の主婦が始めた核兵器廃絶の市民運動がついに国際社会を動かしました。

被爆者が生きていくうちに核兵器をなくそうと始まりました。ご家族をはじめお知り合いの方にお話しして署名を集めましょう。

次々とチェックを受け、ほとんどの方は近所の診療所できちんと健康診断を受けている方だと分かりました。運動後で少し血圧の高めの方もいましたが、十四名の方が受けて大盛況でした。



会場になった所はあじさい班の班会が開かれる場所です、会員さんも多数来てくれました。ただ蒲原診療所から遠い地域なので診療所自体はあまり知られてはいませんが、署名も集まり、友の会と診療所とのよい宣伝になりました。事務局 田中 英人